

国際委員会より

APLAS 2026 にむけて

2026.6.25

国際委員長 大野文良

メンバー

	氏 名	所 属		氏 名	所 属
◎	大野 文良	個人		薦田 敏郎	個人
○	副田 俊吾	日本工営(株)		坂田 幸久	(株)エックス都市研究所
○	瀬瀬 卓也	パシフィックコンサルタンツ(株)		志々目 正高	前田工織(株)
	青田 圭治	カナデビア(株)		中山 裕文	九州大学
	荒木 理絵	(株)エックス都市研究所		則松 勇	清水建設(株)
	石井 一英	北海道大学		眞鍋 和俊	応用地質(株)
	大寺 泰輔	(株)エイト日本技術開発		宮脇 健太郎	明星大学
	熊谷とも絵	(株)エックス都市研究所	☆	HAM Geun-Yong	北海道大学

◎委員長、○副委員長、☆アドバイザー

APLAS（アプラス）とは？

Asian-Pacific Landfill Symposium

当初は、アジア・太平洋圏の最終処分場の国際シンポジウム
現在は、廃棄物関連の国際シンポジウム

主催：開催都市

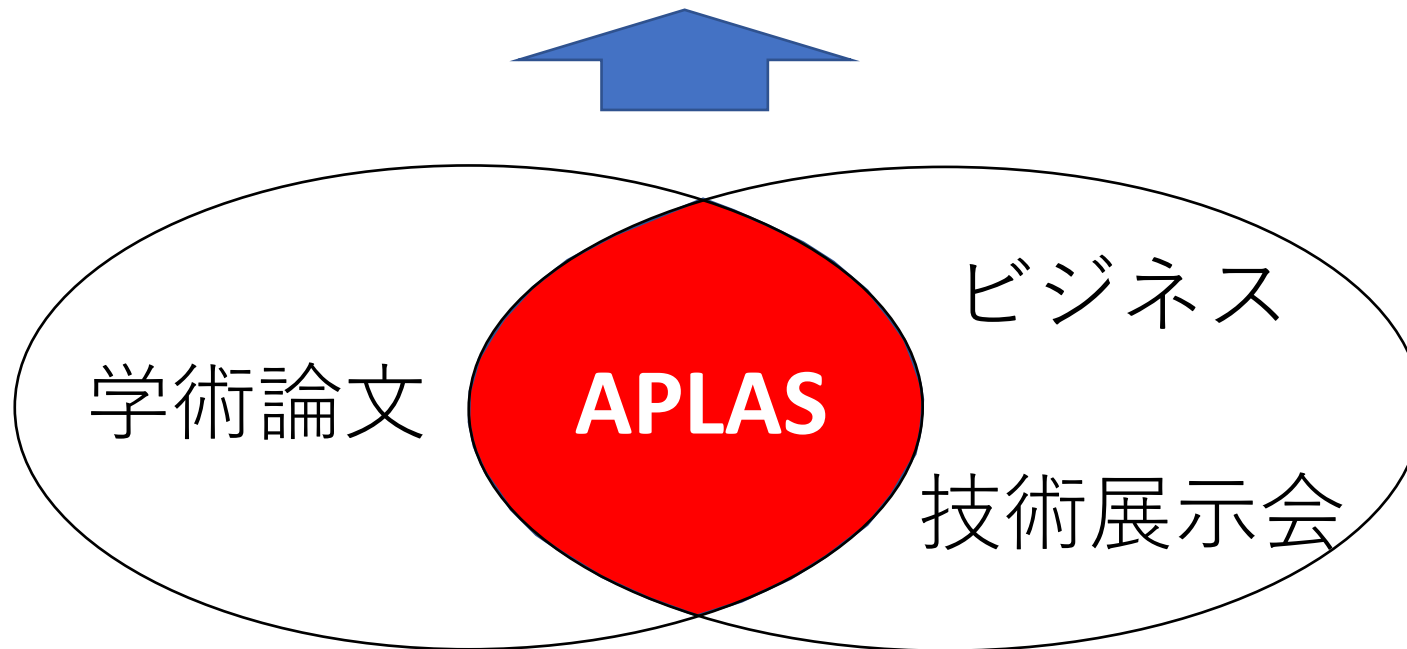
NPO・LSA（最終処分場技術システム研究協会）
他

目的

アジア太平洋地域の廃棄物問題に対処し、持続可能な開発の実現を目指し、廃棄物の埋立及び再資源化分野等の専門家が集い、それぞれの有する技術、理論または経験を共有し、地域全体の環境向上の資することを目的として開催される国際会議

APLAS のコンセプト

アジア太平洋地域全体の環境・廃棄物問題の改善



- ・ 新たな資源循環と環境保全を議論
- ・ 実務者間のネットワークを構築する
- ・ 情報を発信し共有する

APLASの開催地



APLASの歴史

7回
Bali

12回
KL

No.	1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	7 th	8 th	9 th	10 th	11 th	12 th
Year	APLAS 2000	APLAS 2002	APLAS 2004	APLAS 2006	APLAS 2008	APLAS 2010	APLAS 2012	APLAS 2014	APLAS 2016	APLAS 2018	APLAS 2022	APLAS 2024
Hosting-city	Fukuoka Japan	Seoul Korea	Kitakyushu Japan	Shanghai China	Sapporo Japan	Seoul Korea	Bali Indonesia	Ho Chi Minh Vietnam	Hong Kong China	Tokyo Japan	Bangkok, Thailand	Kuala Lumpur, Malaysia
Date	Oct.11-13 2000	Sep.25-28 2002	Oct.27-29 2004	Oct.18-20 2006	Oct.22-24 2008	Oct.27-29 2010	Oct.8-11 2012	Oct.23 2014	Nov. 7-9 2016	Nov.24-26 2018	Nov. 8-10 2022	Nov. 12-14 2024
Venue	Fukuoka Health Promotion Center	JW Marriott Hotel & NIER	Kitakyushu International Conference Center	Shanghai Exhibition Center	Keio Plaza Hotel Sapporo	Seoul Palace Hotel	Sanur Beach Hotel	Windsor Plaza Hotel	The University of Hong Kong	MEISEI Univ.	Grand Centre Point Hotel Terminal 21, Bangkok	Concorde Hotel Kuala Lumpur
Turnout	250 participants	300 participants	350 participants	400 participants	500 participants	350 participants	400 participants	141 participants	356 participants	208 participants	171 participants	151 participants
Participated countries	14 countries	26 countries	19 countries	24 countries	21 countries	11 countries	23 countries	7 countries	15 countries	15 countries	11 countries	11 countries
Presentation	Oral: 32 Poster: 27	Oral: 60 Poster: 60	Oral: 67 Poster: 52	Oral: 85 Poster: 43	Keynote: 4 Oral: 62 Poster: 33 Hybrid: 40	Keynote: 5 Oral: 33 Poster: 57	Keynote: 5 Oral: 83 Poster: 36	Keynote: 2 Oral: 17 Poster: 12 Business Ses.: 11 Business Ex.: 15	Keynote: 3 Oral: 106 Poster: 17 Business Ses.: 6 Business Ex.: 10	Keynote: 3 Oral: 50 Poster: 30 Business Ses.: 8 Ex.: 15 Co.: 9	Keynote: 10 Oral: 35 Poster: 10 Business Ses.: 6 Ex.: 14 Co.: 17	Keynote: 6 Oral: 35 Business Ses.: 6 Ex.: 1 Co.: 8
Organizer	JSMCWM	KSWM SLC	City of Kitakyushu JSMCWM NPO・LSA	Shanghai Environment Groups NPO・LSA	City of Sapporo JSMCWM NPO・LSA	KSWM SLC KDWASTE NPO・LSA	Ministry of Public Works ITB IATPI NPO・LSA MOEJ	NPO・LSA HCMUT	NPO・LSA The University of Hong Kong	NPO・LSA MEISEI Univ. JSMCWM	EEAT NPO・LSA	UMT-MUIT AUN-SEED NET NPO・LSA

APLASクアラルンプール2024の概要

日時：2024年11月12日（火）、13日（水）、14日（木）

場所：Concorde Hotel KL市内

日 付	プログラム
Day 1 （11月12日（火））	・ 挨拶 ・ 基調講演 ・ ビジネスエキスパートセッション ・ 企業展示（1日目） ・ ウェルカムディナー
Day 2 （11月13日（水））	・ パラレルセッション （会場内3カ所同時開催） ・ 企業展示（2日目） ・ 表彰及びクロージング
Day 3 （11月14日（木））	・ テクニカルツアー（2ヶ所）

APLASクアラルンプール2024

2) 開会挨拶

- ① Prof Ts Dr Ali Selama氏、マレーシア工科大学)
- ② 石井一英教授 (NPO最終処分場技術システム研究協会理事長)
- ③ 四方敬之 (在マレーシア日本国大使館)

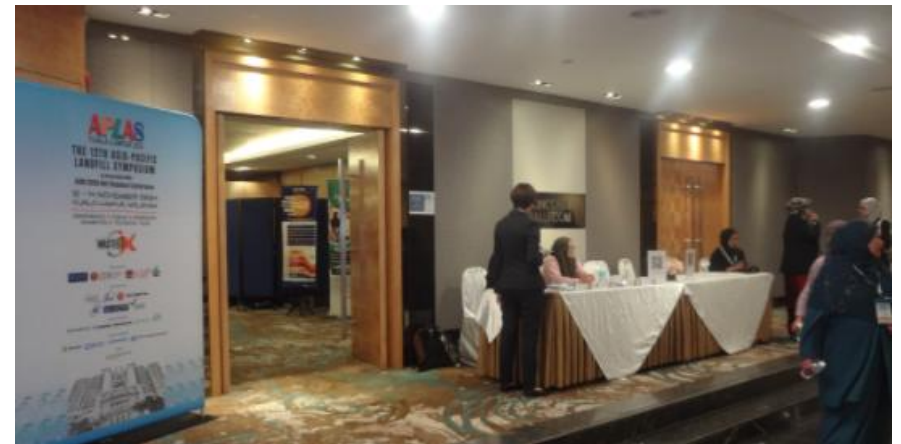
3) 開催宣言

Yang Berhormat Datuk Wira M Noor Azman Taib (マレーシア住宅・地方自治省)

4) 基調講演

- ① 松浦航 (日本 環境省)
Waste Management and Circular Economy Policy in Japan
- ② Mr. Zamri Abdul Rahman (マレーシア)
Solid waste management in Malaysia:What's Up?
- ③ 石井一英 (日本 LSA)
Perspective on the Role of Landfill Sites in the Circular Economy
- ④ 沼田和之 (日本 仙台市)
Municipal Staff Shortage for Disaster Waste Disposal (Online)
- ⑤ 山本 糾哉 (日本 JICA)
JICA Global Waste Management Projects
- ⑥ Thares Srisatit (タイ)
Five-Year Review of Klity Creek Rehabilitation and Secure Landfill of Tailing Waste

APLASクアラ Lumpur



APLASクアラルンプール

5) ビジネスエキスパートセッション

Chair: 大野文良（LSA国際委員会委員長）

Co-chair: Dr. Farah Liana Mohd Redzuan

a. カナデビア(株) Introduction of Kanadevia Technology for People and Planet

- 青田氏 Keiji Aota

b. (株)エックス都市研究所 Recycling and Challenges of Aging Society in Japan

- 熊谷氏 Tomoe Kumagai

c. ナウエグループ Circular Economy Integration: Global Insights and Local Applications

- Dr. Jovana Husemann

d. (株)奥村組 Disaster Waste Estimation and Treatment

- ガニブ氏 Ganiev Jakhongirbek

e. 三ツ星ベルト(株) Geomembrane Technology

- 井場氏 Michio Iba

f. 日本工営(株) Consulting Services in the Solid Waste Management Sector

- 高野氏 Koki Takano

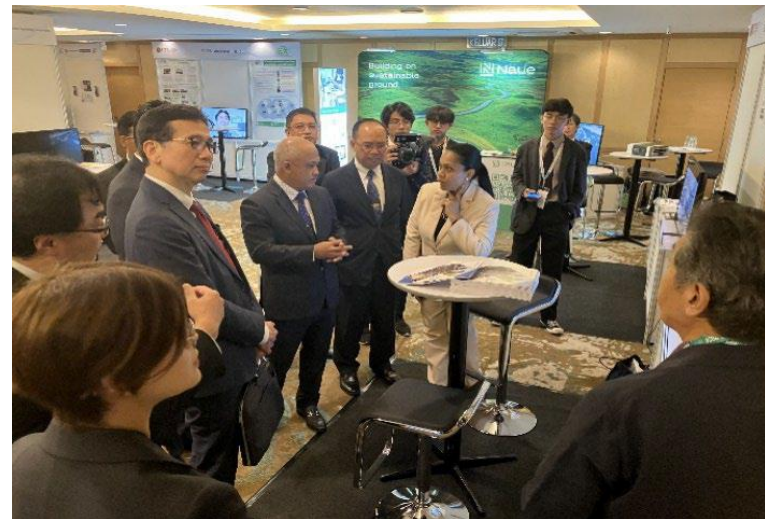
APLASクアラ Lumpur



ビジネスエキスパートセッション
MC



ビジネスエキスパートセッション



マレーシアVIPによる企業展示視察



APLASクアラルンプール

企業展示(GOLD及び Silver協賛枠他)

- G-1 カナデビア株式会社
- G-2 株式会社エックス都市研究所
- G-3 Naue Group(本社はドイツに所在)
- G-4株式会社奥村組
- G-5 SOLMAX(本社はカナダに所在)
- S-1三ツ星ベルト株式会社
- S-2日本工営株式会社
- S-3東和テクノロジー株式会社
- 特別展示:UTM-MJIIT、NPO LSA

協賛団体(LSA特別枠)

- L-1 株式会社エイト日本技術開発
- L-2 五洋建設株式会社
- L-3 株式会社ドーコン
- L-4 日本国土開発株式会社
- L-5 日本遮水工協会
- L-6 株式会社建設技術研究所
- L-7 株式会社ボルクレイジャパン
- L-8 前田工織株式会社
- L-9 FPAシート遮水システム研究会

APLASクアラ Lumpur



ビジネスエキスパートセッションの企業展示

APLASクアラ Lumpur



Parallel Session 6 – Island Waste Management



Parallel Session 7 – Environmental Assessment in Waste Management

パラレルセッション



APLASクアラルンプール

テクニカルツアー：クアラルンプール市内 2 箇所

A：PJ Eco Recycling Plaza

B：Fasiliti Inovasi Kitar Semula (FIKS), Putrajaya



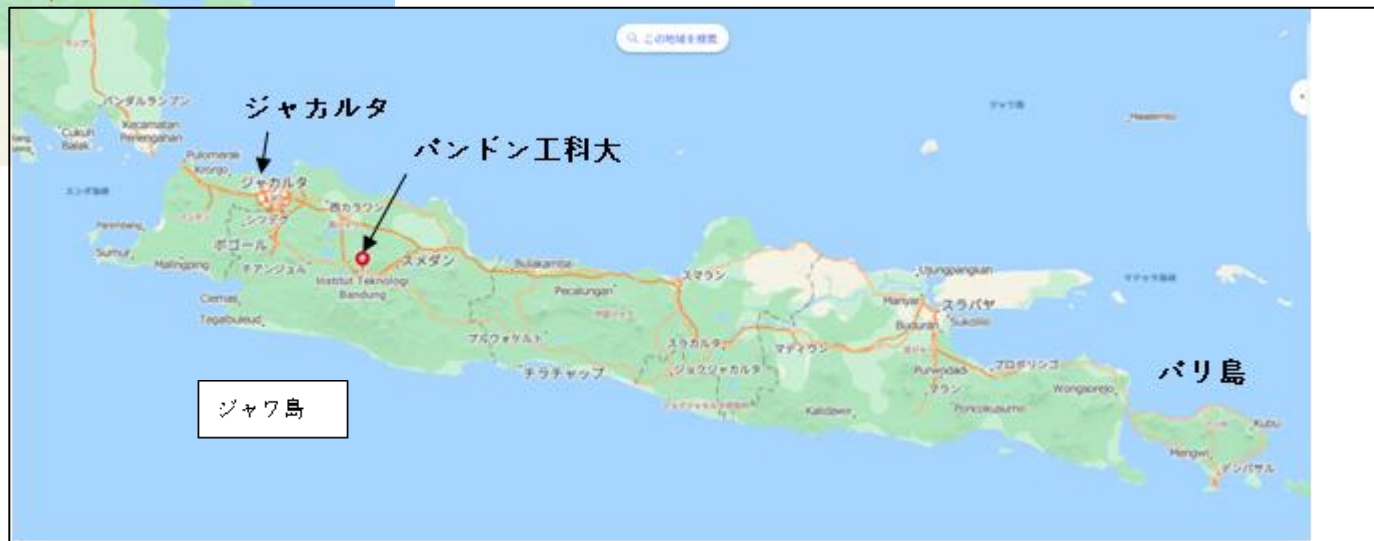
次回:第13回 *APLAS Bandung2026*
2026年11月9日～11日
インドネシア バンドン工科大学 (ITB)



APLASバリ2012の写真



バンドン工科大



THE 13TH ASIA-PACIFIC LANDFILL SYMPOSIUM (APLAS 2026)

SPONSORSHIP PROSPECTUS

*Advancing Waste Management and Technology
for a Circular and Sustainable Future*

 **Bandung, Indonesia**

 **Hosted by**
Faculty of Civil and Environmental Engineering
Institut Teknologi Bandung (ITB)

 **13thaplas2026@itb.ac.id**

第13回 APLAS Bandung2026



【プログラム概要（ブース展示は2日間通しで実施）】

	午前	午後
11月9日（月）	オープニングセッション Keynote Lecture	ビジネスセッション 論文口頭発表セッション
11月10日（火）	論文口頭発表セッション	論文口頭発表セッション Fairwell party
11月11日（水）	テクニカルツアー	

国際委員会からのお願い

- ・ビジネスセッションへの参加
- ・研究論文の投稿

ビジネスセッション

- ・ 目的・趣旨：日本企業等の海外向けアピールを目的、主に会社紹介（各社の概要、海外展開等）
- ・ 設立5年以下の廃棄物関連スタートアップ企業も発表募集
- ・ 基本スペック：参加体系表のGold, Silver またはBronze
 - ①口頭発表：10～20分（貴社の技術・取組のアピール）
※英語による発表
 - ②ブース：1ブース（調整中、間口2m×奥行き2m程度）
 - ③プログラム等への掲載（貴社名やロゴ等）
 - ④開催ホームページへの掲載（貴社やロゴ等）

ビジネスセッション

<参加料金体系表と主なベネフィット>

	金額	Gold 2,000 USD	Silver 1,500 USD	Bronze 1,000 USD	Start-up (<5years) 500 USD	LSA 特別枠 50,000 円
	1. オンサイト (会場) でのベネフィット					
1	企業ブース展示	2m x 2m Priority place	2m x 2m Standard place	-		LSA の ブースに 御社のパ ンフレッ トを置き て配付し ます。
2	ビジネスセッションでの口頭発表	✓	✓	-	✓	
3	APLAS 参加登録料の無料参加枠 (パン ケットディナー、テクニカルツアー含 む)	3 persons	2 person	1 person	1 person	
	2. 広告ベネフィット					
4	APLAS パンドン 2026 のホームページ 内への会社ロゴ掲載	✓ Large	✓ Medium	✓ Small	✓ Small	
5	APLAS のプログラム冊子や配布資料等 への会社ロゴ掲載 (e-booklet など)	✓ Large	✓ Medium	✓ Small	✓ Small	
6	開会式典、閉会式典等でのスポンサー紹 介	✓	-	-		

ビジネスセッション

6. 連絡担当者

参加のご希望、問い合わせ等は下記までメール（タイトルに【APLAS2026 申込関連】と記載）
をお願いします。

第1次締切を8月14日（金）と致しますので、お早めにお申し込み下さい。

申し込みメールを頂きましたら、手続きの書類などを共有致します。

特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会

アプラス事務局 ビジネスセッション担当 大寺 泰輔

所属：株式会社エイト日本技術開発

TEL : 070-8719-7538 E-mail : lsa-aplas2026_bs@ej-hds.co.jp

研究論文のカテゴリー

- ①持続可能な廃棄物管理戦略
- ②持続可能な埋立地
- ③循環型経済と廃棄物防止・最小化戦略
- ④統合固形廃棄物管理
- ⑤廃棄物の転換と価値化
- ⑥有害廃棄物および特殊廃棄物管理
- ⑦廃棄物処理および処分のための革新的技術
- ⑧廃棄物管理における地域社会の関与と教育
- ⑨島嶼地域における廃棄物管理と3Rの課題
- ⑩災害廃棄物管理

研究論文等のスケジュール（2026年）

- ・ アブストラクト締切：7月30日
- ・ 採 択 通 知 ：8月15日
- ・ 早期参加費支払締切：8月 7日
- ・ 通常参加費支払締切：9月15日
- ・ フルペーパー締切 ：10月1日
- ・ シンポジウム開催日：11月9日～11日

研究論文のプレゼンター・非プレゼンター 参加費用

国際料金

カテゴリー	料金
プレゼンター(プロフェッショナル)	USD 283
プレゼンター(学生)	USD 226
非プレゼンター参加者(プロフェッショナル)	USD 226
非プレゼンター参加者(学生)	170米ドル
追加テクニカルツアー(プロフェッショナル)	USD +50
追加技術ツアー(学生向け)	USD +25

第13回 APLAS Bandung2026

2026年11月9日（月）～11日（水）
インドネシア バンドン工科大学（ITB）

国際委員会からのお願い

- ・ **ビジネスセッションへの参加**
- ・ **論文投稿**

みなさまの参加をお願いします